

開催にあたって

2024年9月5日(木)にマリーナキャンパス防災シミュレーションセンターにて、本学20周年記念公開シンポジウム(第19回ナノ・バイオメディカル学会大会サテライトシンポジウム)「コラーゲン線維網の新素材が先導する医薬学研究と実用化に向けた展望」を開催させていただきますこと、とても光栄に存じます。

私は、ちょうど20年前に農業生物資源研究所(現、農研機構)で世界に先駆けて生体内の結合組織に匹敵する高密度コラーゲン線維網の新素材「コラーゲンビトリゲル」を開発することに成功しました(Takezawa T, *et al.* Cell Transplantation. 13(4): 463-473, 2004.)。その後、動物細胞の培養器材、創薬・動物実験代替法の支援ツール、さらには医療機器として、コラーゲンビトリゲルの実用化を目指して、多くの産学官共同研究を展開してきました(「ビトリゲル®」は農研機構の登録商標です)。本学では、これまでのコラーゲンビトリゲル関連技術の継承と、これまでにないゲルの創造により、新産業創出に繋がる研究を展開したいと考えております。

このような背景から、本シンポジウムでは、再生医療、創薬あるいは動物実験代替法分野でコラーゲンビトリゲルの先端研究を展開されてきた5名の先生に御講演いただきますとともに、小職よりコラーゲンビトリゲルと新しいCISゲルの実用化に向けた展望について紹介させていただくこととしました。なお、本シンポジウムは、関東化学株式会社さまに協賛いただいております。

講演終了後には、屏風ヶ浦や銚子マリーナ海水浴場を眺められる交流会の場で、情報交換を行っていただけます。産官学で研究開発に携わっている方から学生や一般の方まで、多数のご参加を心よりお待ちしております。有意義なシンポジウムとなりますように、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2024年4月吉日

オーガナイザー

千葉科学大学 大学院薬学研究科

生体機能再生薬学研究室

教授 竹澤 俊明



千葉科学大学 20周年記念 公開シンポジウム

(第19回ナノ・バイオメディカル学会大会サテライトシンポジウム)

コラーゲン線維網の新素材が先導する 医薬学研究と実用化に向けた展望

日時 2024年9月5日 (木) 13:00-18:00
会場 〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15-8
千葉科学大学 マリーナキャンパス
危機管理学部棟2階 防災シミュレーションセンター
アクセス <https://www.cis.ac.jp/information/access/index.html>
司会者 竹澤 俊明



プログラム

- 13:00-13:10 開会のあいさつ
13:10-13:50 コラーゲンビトリゲルが拓く医療機器の未来
青木 茂久 (佐賀大学 医学部)
13:50-14:30 コラーゲンビトリゲルを利用した鼓膜を再生する医療機器の開発
宮下 武憲 (香川大学 医学部)
14:30-15:10 コラーゲンビトリゲル膜を利用したヒト微小血管内皮・肝小葉モデル：
In vitro バリア機能薬理学の提唱と創薬への応用
宇津 美秋 (千葉大学 大学院薬学研究院)
15:10-15:25 休憩
15:25-15:55 コラーゲンビトリゲルを利用した眼刺激性試験法「Vitrigel-EIT法」
山口 宏之 (関東化学株式会社 技術・開発本部)
15:55-16:25 コラーゲンビトリゲルを利用したヒト胎盤バリアモデルの構築
堀 武志 (東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)
16:25-16:55 コラーゲンビトリゲルと新しいCISゲルの実用化に向けた展望
竹澤 俊明 (千葉科学大学 大学院薬学研究科)
16:55-17:00 閉会のあいさつ
17:10-18:00 交流会

※「ビトリゲル®」は農研機構の登録商標です

参加登録: 6月10日 (月) ~ 8月30日 (金)
URL: <http://www.nanobio.jp/>
参加費 無料



※ 台風等で現地開催不可と判断した場合は、9月4日 (水) 正午までにナノ・バイオメディカル学会および千葉科学大学のHPに掲載します。

主催: 千葉科学大学 協賛: 関東化学株式会社

問い合わせ先 大会・サテライトシンポジウム運営委員会
委員長 高橋 正人、副委員長 川島 裕也、事務局長 本庄 秀樹、事務局 岩崎 衛、竹澤 俊明
Email: nanobiomedical19@gmail.com
TEL: 0479-30-4687 (千葉科学大学 大学院薬学研究科 生体機能再生薬学研究室)